

2024年4月21日 復活節第4主日礼拝次第  
主日礼拝

前奏 (黙想)  
招きの言葉 イザヤ書62章3~4節(旧約1163 ㊦)  
讃美歌 37(いと高き神に)  
主の祈り <A>(讃美歌93-5)  
詩編交読 詩118編1~12節(交読詩編133 ㊦)  
聖書 ヨハネによる福音書21章15~25節(新約211 ㊦)  
祈禱  
讃美歌 512(主よ、献げます)  
説教 「行きたくない所へ」田中雅弘牧師  
讃美歌 458(信仰こそ旅路を)  
信仰告白 使徒信条<A>(讃美歌93-4)  
献金  
讃美歌 88(心に愛を)  
派遣祝福  
後奏 (黙想)  
報告  
※讃美歌は原則として全節を歌います

主の祈りA(讃美歌21 93-5-A)

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあげさせたまえ。  
み国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を 我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、悪より救い出したまえ。  
国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり。 アーメン。

聖書 ヨハネによる福音書21章15~25節

イエスとペトロ

15 食事が終わると、イエスはシモン・ペトロに、「ヨハネの子シモン、この人たち以上にわたしを愛しているか」と言われた。ペトロが、「はい、主よ、わたしがあなたを愛していることは、あなたがご存じです」と言うと、イエスは、「わたしの小羊を飼いなさい」と言われた。16 二度目にイエスは言われた。「ヨハネの子シモン、わたしを愛しているか。」ペトロが、「はい、主よ、わたしがあなたを愛していることは、あなたがご存じです」と言うと、イエスは、「わたしの羊の世話をしなさい」と言われた。17 三度目にイエスは言われた。「ヨハネの子シモン、わたしを愛しているか。」ペトロは、イエスが三度目も、「わたしを愛しているか」と言われたので、悲しくなった。そして言った。「主よ、あなたは何もかもご存じです。わたしがあなたを愛していることを、あなたはよく知っておられます。」イエスは言われた。「わたしの羊を飼いなさい。18 はっきり言うておく。あなたは、若いときは、自分で帯を締めて、行きたいところへ行っていた。しかし、年をとると、両手を伸ばして、他の人に帯を締められ、行きたくないところへ連れて行かれる。」19 ペトロがどのような死に方で、神の栄光を現すようになるかを示そうとして、イエスはこう言われたのである。このように話してから、ペトロに、「わたしに従いなさい」と言われた。

イエスとその愛する弟子

20 ペトロが振り向くと、イエスの愛しておられた弟子がついて来るのが見えた。この弟子は、あの夕食のとき、イエスの胸もとに寄りかかったまま、「主よ、裏切るのはだれですか」と言った人である。21 ペトロは彼を見て、「主よ、この人はどうなるのでしょうか」と言った。22 イエスは言われた。「わたしの来るときまで彼が生きていることを、わたしが望んだとしても、あなたに何の関係があるか。あなたは、わたしに従いなさい。」23 それで、この弟子は死なないというわさが兄弟たちの間に広まった。しかし、イエスは、彼は死なないと言われたのではない。ただ、「わたしの来るときまで彼が生きていることを、わたしが望んだとしても、あなたに何の関係があ

るか」と言われたのである。

24 これらのことについて証しをし、それを書いたのは、この弟子である。  
わたしたちは、彼の証しが真実であることを知っている。

25 イエスのなされたことは、このほかにも、まだたくさんある。わたしは  
思う。その一つ一つを書くならば、世界もその書かれた書物を収めきれな  
いであろう。

#### 讃美歌37番

- いと高き神に 栄えあれ、とわに。  
そのいつくしみを たたえ、感謝せよ。  
みこころに適う 人々すべてに。  
平和を賜えば。
- 父なるみ神を ほめたたえ崇めん。  
み旨にしたがい 世を治めたもう。  
み国とちからと 栄光はつねに  
すべて神のもの。
- 主イエス・キリストよ、神の独り子よ、  
この世の罪とが あがなう小羊。  
われらをあわれみ、ささぐる祈りを。  
受け入れたまえや。

#### 讃美歌512番

- 主よ、献げます、私のいのち、  
あなたのために 用いてください。  
今この時も これからのちも  
み名をたたえて 日々過ごします。
- 主よ、献げます、私の手足、  
みわざのために 用いてください。  
差しのべる手を 愛の手として、  
平和伝える 主の足として。
- 主よ、献げます、私の声を。  
あなたのみ名を ほめ歌います。  
この唇を よいおとずれで  
あふれるばかり 満たしてください。

#### 讃美歌458番

- 信仰こそ旅路を みちびく杖、  
弱きを強むる かなれば、  
こころ勇ましく 旅を続け行かん。  
恐るべきものは この世になし。
- わが主をかしらと 仰ぎ見れば、  
ちからの泉は 湧きて尽きず。  
恵みふかき主の み傷示されて  
わずかに残る火 ふたたび燃ゆ。
- 主イエスの足跡 たどりゆけば、  
けわしき山路も 越え行くを得ん。  
疲れることなく、迷うこともなし、  
ひたすら御神へ 近づきゆかん。
- 信仰こそわが身の 杖と頼まん、  
炎も剣も なにかはあらん。  
代々の聖徒らを 強く生かしたる  
いのちの聖霊 与えたまえ。

#### 讃美歌88番

心に愛を 豊かにみだし  
日ごとのわざに つかわしたまえ